

1. 委員会を開いた年月日及び場所

令和3年12月7日 午前11時10分開会
小値賀町役場 3階第1会議室

2. 出席した委員の氏名

委員長	横山弘藏
副委員長	今田光弘
委員	末永一朗
委員	黒崎政美
委員	宮崎良保
委員	松屋治郎

3. 欠席した委員の氏名

なし

4. 出席した委員外議員の氏名

議選監査委員 浦英明

5. 説明のため出席した者

町長	西村久之
副町長	近藤進
会計管理者	前田隆利
総務課長	谷元芳久
住民課長	橋本博明
福祉事務所長	前田達也
こども園長	植村敏彦
産業振興課長	中村慶幸
産業振興課理事	松崎久幸
農業委員会事務局長	北村仁
建設課長	橋本満
建設課理事	村田祐一郎
教育次長	永田敬三
診療所事務長	牧尾豊
総務交通班長	黒崎秀将
企画振興班長	博多屋雄一郎
戸籍税務保健班長	西村幸治
福祉支援班長	浦鉄兵
産業振興班長	山元忍
産業振興班長	大田議嗣
建設管理班長	中野高樹
企画係長	神崎健司
財政係長	大田泰規
税務係長	伊藤朋文

福 祉 係 長	森 知 佳
幼 児 教 育 係 長	村 中 曜 子
水 産 係 長	田 川 昌 義
商 工 観 光 係 長	江 川 孝 太 郎
教 育 総 務 係 長	岩 坪 清 洋

6. 職務のため出席した者

議 会 事 務 局 長	西 浩 康
議 会 事 務 局 書 記	松 田 智 恵 美

7. 付託を受けた事件の件名

議案第66号 令和2年度小値賀町各会計歳入歳出決算認定について

令和2年度小値賀町一般会計歳入歳出決算

開会 11時10分

委員長（横山弘藏） おはようございます。

ただいまから 決算特別委員会を開会する。

本委員会に付託された案件は、『議案第66号、令和2年度小値賀町各会計歳入歳出決算認定について』である。

本委員会の審査は、本日から明後日9日までの3日間の予定である。

審査の順序として、本日と明日は一般会計の歳入歳出、明後日は特別会計を予定しているが、本日一般会計が全て終了した場合は、明日の決算特別委員会は休会にしたいと思うので、ご了承願う。

審議に入る前に、皆様方にご協力をお願いする。

発言については、まず手を挙げて「委員長」と呼びかけ、その後、自分の職名を言うように。それを受けた委員長の指名の後、起立して発言するように。

質疑に対して説明するため出席している説明員は、原則、町長以下各課長職、理事、班長までである。それ以外のものの説明を要する場合は、説明員が説明させる者の氏名及び必要な理由を述べた上で、委員長の許可を得て発言させるように。

また、その折、説明させる者の服装には十分注意されるようご配慮願う。

それでは、審議に入る前に、議会選出の浦英明監査委員に委員としての立場から、令和2年度の各会計の決算について、報告をしていただく。 浦 英明監査委員

監査委員（浦 英明） それでは、報告する。

令和3年9月18日から10月7日の間で実施した決算審査の内容は、別冊の意見書のとおりであるが、私なりにまとめた内容を報告する。

令和2年度の実質収支は、一般会計が1億1,441万7,000円、特別会計4,674万9,000円の、計1億6,116万6,000円の黒字である。また、経常収支比率は81.6%で、前年比1.5%増加しており、経常経費の抑制に努める必要がある。自主財源は7億2,590万5,000円で、歳入総額の17.4%と極めて低く、本町の財政基盤が脆弱といわれる所以である。

歳入の未済額は、一般会計621万9,000円、特別会計1,214万5,000円の計1,836万4,000円で、前年比193万8,000円の減となっている。一部は固定化し、不納欠損をはらんでいく案件もあるので、適正な処理をされるよう指摘をしたところである。

歳出の不用額は、一般会計1億6,752万8,000円、特別会計5,953万4,000円の計2億2,706万2,000円で、前年比4,837万1,000円の増である。不用額を出す要因としては、1人100万円以上の高額療養費とか、年度末に見込めない額が発生するといったものがあり、なかなか注意しきれない要件がある。とはいえ、委託料で1件5,439万1,000円はあまりにも多額で、厳重に注意すべきであると喚起したところである。また、近年繰越事業が多くなり、特に公共事業では常態化しており、懸念すべき点が見受けられる。繰越は、財政法上の特例とされ、できるだけ避けることになっているので、注意すべきである。

今後は、公共施設の老朽化等による修繕工事や更新工事が控えており、多額の費用が発

生するので、実質公債費、比率等の財政批評に目を配り、監視していく必要がある。

以上、令和2年度における監査報告とする。

委員長（横山弘藏） ありがとうございます。

これから質疑を行う。

一般会計歳入歳出決算について、歳入から順番に款を追ってご質問願う。

事項別明細書 13 ページから。

委員長（横山弘藏） 第1款・町 税 今田委員

委員（今田光弘） 13・14 ページの町税の中の固定資産税、真ん中あたりだが、収入未済額が 399 万 550 円で昨年も同じぐらいの金額が計上されているが、この中身についてお知らせ願う。

委員長（横山弘藏） 言うておく。答弁する前の時間が、昨年も結構長いと感じている。準備をしっかりと、質問があった場合には、速やかに答弁するよう願う。 住民課長

住民課長（橋本博明） まず、現年課税分の未納額 58 万 5,200 円が人数にして 27 名分。次に、滞納繰越分の 340 万 5,350 円が 42 名。固定資産税の内訳としては、土地分について 93 万 7,920 円。家屋について 305 万 2,630 円。償却資産の滞納はない。以上だ。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） 年々同じぐらいの金額が、収入未済になるということは、要はもう支払わない人が固定されているということか。

委員長（横山弘藏） 住民課長

住民課長（橋本博明） 当然、収納している分もあるが、収納した分、新規の滞納が発生したりとか、特に未相続の財産については、継続して未納という案件もある。ただ、滞納分については収納しているものもある。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） 滞納分で収納したのもあると思うが、実際に滞納分も昨年より増えている状況なので、もう少ししっかり、収納できない原因は当然あるが、このままいけばまずいことになるので、何かしらの努力を今まで以上にしてもらいたいが、いかがか。

委員長（横山弘藏） 住民課長

住民課長（橋本博明） 滞納の整理の手段としてできることはやっているが、やはり最近増えているのが、未相続で相続人の方が全て相続を放棄するようなことがあり、その財産の処分、管理をする方を新たに選任していただくとか、期間を要するような案件が増えている傾向にあるが、今後、滞納整理として使える手段は使って、なお一層の収入確保に努めていきたいと思う。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 第2款・地方議与税

- (「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第3款・利子割交付金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第4款・配当割交付金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第5款・株式等譲渡所得割交付金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第6款・地方消費税交付金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第7款・環境性能割交付金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第8款・地方特例交付金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第9款・地方交付税
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第10款・交通安全対策特別交付金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第11款・分担金及び負担金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第12款・使用料及び手数料
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第13款・国庫支出金 (P23~P31)
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第14款・県支出金 (P31~P41)
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第15款・財産収入
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第16款・寄附金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第17款・繰入金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第18款・繰越金
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第19款・諸収入 (P49~P53)
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 委員長(横山弘藏) 第20款・町債 (P53~P57)

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(横山弘藏) 第21款・法人事業税交付金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(横山弘藏) 次に『財産に関する調書』の質疑を行う。(P349～)

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(横山弘藏) それでは、これより歳入全般についてご質疑願う。 松屋委員

委員(松屋治郎) 寄附金について伺う。ふるさと寄附金4,496万9,000円に掛かる、委託料、返礼品等を差し引いて、いくら残るか伺う。

委員長(横山弘藏) 総務課長

総務課長(谷元芳久) 4,496万9,000円のうち、2,851万5,817円を積み立てているので、その残額がそういった経費である。

謝礼として、報償費で870万8,152円が返礼品に当たる。役務費、手数料として、424万9,131円。それから、間に入っている事業者に出す委託料が349万5,900円、以上だ。

委員長(横山弘藏) ほかにないか。 松屋委員

委員(松屋治郎) 返礼品の大まかな内訳はわかるか。

委員長(横山弘藏) 総務課長

総務課長(谷元芳久) 手元に資料がないので、二十何社か小値賀町の方で返礼品を扱っている業者がおり、その業者の内訳という形になると思うので、後から調べて届けさせる。

委員長(横山弘藏) そしたら、後で願う。

委員長(横山弘藏) ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認める。

しばらく休憩する。

— 休憩 午前 11時30分 —

— 再開 午前 11時37分 —

(総務課、住民課戸籍・税務関係入室)

委員長(横山弘藏) 再開する。

歳出に移るが、最初に総務課関係、住民課戸籍・税務関係を、款を追ってご質疑う。

第1款・議会費 (P61～P63)

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(横山弘藏) 第2款・総務費

長いので、重複を避けるために項ごとに審議を進める。

1項・総務管理費 (P63～P83)

今田委員

委員(今田光弘) 76ページ、よく理解できなかったので質問するが、ふるさと寄附金関係、報償費ということで、予備費から180万円充用とあるが、この理由を聞かせ願う。

委員長(横山弘藏) 総務課長

総務課長（谷元芳久） ふるさと寄附金の収入が、年末に見込みより多く寄附があったことに伴い、報償費を払う時に、うちの見込みが甘かったために、その分を予備費から流用させてもらった。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） そのふるさと寄附金のことだが、昨年度も話したと思うが、2年度も使われてない状況だと思う。使い道を明確にしていると言いながら、大きな括りでの使い道となっていて、できれば金額が安くても具体的に何をすることが出てくると、もう少しもしかすると増えると思うが、いかがか。

委員長（横山弘藏） 企画振興班長

企画振興班長（博多屋雄一郎） 使い道に関しては、昨年も指摘があったと思うが、毎年方針は立てて1,000万円ずつ取り崩していくことにしている。具体的な例を挙げると、今年実は実らなかったが、学生の未来に向けた勉強のためということで海外修学旅行費とか、そういうところに、令和3年度は充当させてもらったが、決算でいうと具体例がなかったところが反省だ。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 75ページ、地域おこし協力隊で納島担当の事業関係備品購入費とあるが、かなり金額が大きいけど、具体的にどういった内容か、本当は当初かもしれないが願う。

委員長（横山弘藏） 企画振興班長

企画振興班長（博多屋雄一郎） 納島の備品については、生活ができる状況とか、事務所として使用することができる状況にするために、備品を購入している。大きな買い物からいくと、全自動洗濯機、電子レンジ、冷蔵庫、エアコン等、生活に必要なものとなっている。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） 納島、今2人行っていると思うが、聞くところによると、今年度の話になってしまうが、1人は納島で、1人は大阪で仕事をしているということで、ちょっと何かそれについて理解できないが、どういうシステムになっているか。

委員長（横山弘藏） 企画振興班長

企画振興班長（博多屋雄一郎） そのシステムは、本当にこの地域おこし協力隊の事業に、そぐうのかそぐわないのかというところは、難しい部分があると思う。こちら慎重に、最初に県・総務省等に問い合わせて、そういうやり方でいいのか尋ねたが、委託事業でもあるし、ミッションをクリアすることが地域おこし協力隊の業務であるので、そのところは大丈夫だという回答をもらっている。町としても、本当にそこに居てからの事業だろうという解釈だったが、そういう回答を受けて、委託受注者がそれを望んでおり、県も総務省もいいということであれば、町も大丈夫という判断をして、そのとおりやっている。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） 問題ないのかもしれないが、実際問題として、2人が大阪の会社に属

している。その会社の業務として、この地域おこし協力隊の業務をやっていることになる
と、2人は会社からお給料を貰って、小値賀からの地域おこし協力隊のいろいろなお金
というのは、本人にいつてるのか、それとも会社にいつてるのか。

委員長（横山弘藏） 企画振興班長

企画振興班長（博多屋雄一郎） 委託業務の委託先は本人、個人を2人としている。

委員長（横山弘藏） ということは個人に委託している。その報酬は個人にいつているの
か。会社ではなくて。よくわからないな。それからもうひとつ、1人は会社にいるなら、
その活動状況の報告はちゃんと文書でもらっているか。

企画振興班長（博多屋雄一郎） はい。

委員長（横山弘藏） 今田委員、ほかにあるか。

委員（今田光弘） 2人が1人ずつ交代で、大阪に行ってる時は大阪の会社の仕事、こっ
ちに来たら納島の仕事プラスリモートでやるとなると、本来1人でできる仕事を2人で分
けているような気がする。そうなる具体的ないくらか金額は覚えてないが、国がいう400
万とか450万を1人あたりの半分ずつでもいいと思うが、いかがか。

委員長（横山弘藏） 企画振興班長

企画振興班長（博多屋雄一郎） 言うとおりでと思うが、我々もそういうところは検討し
た。だが、やはり最初2人で分業してやっていくというところで、1人が納島で活動して
いる間に、1人が会社の方で納島から吸い上げた情報をプラン化して、そこを地域おこし
の計画としてまとめていくという説明を受けて、我々もそこで納得をしているので、そう
いう実施の仕方をさせてもらえればと思っている。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） 執行部がそういうことで腹を括っているのであれば、先ほど話にあつ
た、実際にミッションをクリアするかどうかになると思う。その中で、この2年度に何
かミッションをクリアしたということは実際にあるか。

委員長（横山弘藏） 企画振興班長

企画振興班長（博多屋雄一郎） 正直2年度はほんの少しの期間だったので、本当に家の
改修だけに追われてしまったところだ。しかしその間、甘え上手というところがあり、地
域の人をかなり巻き込んで改修を行っている。そういうところが、我々が納島に協力隊を
送り込んだ活動の主旨だったので、まずはそのミッションは達成できたと、数字には表れ
ないがそう思っている。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

今田委員

委員（今田光弘） 実績及び事業評価一覧、A3の方で質問する。

決算から外れるかもしれないが、2番目に公共施設の老朽化の話が出ているが、離島開
発総合センターの外回りがだいぶ傷んでいるが、その辺については2年度の中では全然出
てこなかったのか。

委員長（横山弘藏） 企画振興班長

企画振興班長（博多屋雄一郎） 離島開発総合センターの老朽化調査については、出てきていない。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） 2年度の時点では出てこなかったということだが、今年度にも入ってなかったと思うが、今の状況はたぶんご存じだと思うが、本体は問題ないかもしれないが外側はボロボロで危険という部分もあるので、いろいろ考慮してもらいたいと思い質問した。

委員長（横山弘藏） 総務課長

総務課長（谷元芳久） 今田委員の質問だが、私達も把握している。屋上の防水シートの劣化とか、屋上の一部コンクリートが剥がれている部分とか、いろんな部分の写真を撮って確認しているので、今後また公共施設計画の方で、皆さんと検討しながらマネジメントシートを作り上げて、何年度になるか、取り壊しになるのか、改修するのか、その辺も検討していきたいと思う。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

不用額も発生しているがないか。

宮崎委員

委員（宮崎良保） 一覧表の5番、ふるさと寄附金推進事業、4,496万9,000円程度、1年間でふるさと納税をもらっている。本年度、先ほどのおちか新聞のトータルでいうと9,000万、1億近くになっているが、まだ1円も使っていない状況だ。そのふるさと寄附金をした方には、何に使うかについての要望があると思うが、その辺の使い道について、今後どのように考えているのか、支出で聞きたいが支出に上がらないので、ここで聞いた。よろしく願う。

委員長（横山弘藏） 企画振興班長

企画振興班長（博多屋雄一郎） ふるさと寄附金については、目的どおりのことに使っていこうということで、計画をしている。先ほども言ったとおり、令和2年度にそういった指摘を受けたので、令和3年度の補正予算で充当している。年間1,000万円ずつ取り崩していく方針の下に、松を守るプロジェクトに寄附してもらった寄附金であれば、今の松枯れ対策の方に、令和3年度は充当している。そのようにして運用していく予定だ。

委員長（横山弘藏） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 昨日も私一般質問したが、やはり公共施設・観光施設がかなり傷んでいる。野崎の教会とか。その辺に充当する考えは持っていないのか伺う。

委員長（横山弘藏） 企画振興班長

企画振興班長（博多屋雄一郎） その辺の充当についても考えながら業務を行っているが、今の方針が1,000万円ずつとりあえず取り崩していこうという方針なので、まだそこには至っていない状況だ。

委員長（横山弘藏） 松屋委員

委員（松屋治郎） 今4つの使用目的を作って、それをやっていると。しかし、小値賀で

一番何が大事か。過疎化・人口減少を止め切らない。その一番の要因は人材不足だ。人間がない。だからふるさと寄附金となるなら、ふるさとを再生する。どうにかする。自分達で守る。そういう意味合いも含めて、これをすべて、私は人材育成に使ってもらいたい。そのような考えはないか町長に伺う。

委員長（横山弘藏） 町 長

町長（西村久之） 寄附金をもらう時に、目的に寄附するというのがあるが、学生に対する寄附金というのはあるらしいが、人材育成に使ってというのが今のところないので、それも入れてもいいのではないかとというのが私の中であるので、今後寄附をもらう時に、例えば後継者対策に寄附をすとか、そういう項目を設けた方がいいかもしれないと今は思っている。

委員長（横山弘藏） 松屋委員

委員（松屋治郎） せっかく、それもいいことだと、町長から前向きな姿勢で話はもらったが、私はこのふるさと寄附金を、今私が言ったようなことで募集すると。国境離島であるこういう離島はもう過疎化が止まらな。産業も何も育たないと。なぜか。ある程度一次産業の基盤はあるが、それを100%利用できていない。なぜか。これをもって人がいない。そういう意味で、何よりも私は人材育成・人材確保策が必要と思う。他のことは、人材がいて小値賀を引っ張って行って、どうにかなった時に、そういうことは解決するような問題だ。だから、まず、最初にしなければならぬ仕事は人材育成だ。これを皆さんでよくわきまえてもらい、今後の町政に活かしてもらいたいと思う。

委員長（横山弘藏） 町 長

町長（西村久之） 私も全く同感で、町づくりは人づくりなので、人材を育成しないことには町が成り立っていかない。そういう意味では、農業に対しても漁業に対しても、後継者対策ということで予算化もしているが、行政がいくら頑張っても、言い訳ではないが、例えば町内の後継者から言わせると、「残って頑張って漁師をやってくれよ」とか「農業をやってくれよ」という親御さんがなかなかいないのだが、幸いよそから、「農業したいから」「漁業したいから」ということで、また商業に関しては「起業したいから」という方が、実際のところ今増えているので、その辺については、行政としても頑張っていきたいと考えていると考えている。できれば第一次産業については、漁協とか農協の総会の折に、「後継者を残してくれないか」という話はしているが、これは町民の皆様方の考え方なので、こちらは努力するが、お互い努力して後継者を育てていかなければいけないと考えている。

委員長（横山弘藏） 松屋委員

委員（松屋治郎） その意味合いでも、3月の一般質問でさせてもらった五島市の事例、例えば大学・専門学校、いろいろなことで奨学金を使って、学校を卒業し故郷に帰ってきたら10年間、Uターン者は毎月3万円、Iターン者は毎月2万円支給する。看護師・医療関係者は3万円を10年間。これはIターン者でも支給するというような事例がある。そこら辺もよく加味してもらって、今の問題を真剣に取り組んでももらいたいと思う。

委員長（横山弘藏） 町 長

町長（西村久之） そのことに関しては、今、小値賀町に奨学金制度というのがあり、ワーキンググループを作って検討中なので、より使いやすく、皆様に喜んでもらえるような奨学金制度にしたいと考えている。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 81・82 ページ、15 目・コロナ対策の不用額、1,600 万円余りの内容についてお知らせ願う。

委員長（横山弘藏） 総務課長

総務課長（谷元芳久） まず、事業継続支援金が 741 万 3,257 円、商工業の経営資金利子が 98 万 6,984 円、事業継続支援金の漁業者分が 186 万 9,630 円、こんどおぢかにいく券の経費の補助が 16 万 559 円、農漁業の燃油高騰で 70 万 7,587 円、離島流通コストで 77 万 4,703 円が、だいたいその不用額となっている。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） ちょっと金額が大きいので気になったが、実際に見積もりが甘かったのか、思ったより申請が少なかったのか、その辺はいかがか。

委員長（横山弘藏） 総務課長

総務課長（谷元芳久） 見積もりが甘かったというか、申請主義なので、実際私達が見積もった中よりも、申請者が少なかったというのが実情じゃないかと思う。

委員長（横山弘藏） しばらく休憩する。

— 休憩 午後 零 時 00 分 —
— 再開 午後 13 時 29 分 —

委員長（横山弘藏） 再開する。

総務管理費、ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 2 項・徴 税 費 (P83～P85)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 3 項・戸籍住民基本台帳費 (P85～P89)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 4 項・選 挙 費

5 項・統 計 調 査 費

6 項・監 査 委 員 費 (P89～P91)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 第 8 款・消 防 費 (P155～P159)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 第 11 款・公 債 費 (P193)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 第12款・諸支出金 (P193～P195)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 第13款・予備費 (P195)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） それでは、総務課関係、住民課戸籍・税務関係の歳出全般について
ご質疑願う。 松屋委員

委員（松屋治郎） 未納の対応策は、臨戸訪問や納税相談や預金調査やいろいろなことを
して、町税に努力していると思うが、それぞれのだいたいの件数はわかるか。

委員長（横山弘藏） 住民課長

住民課長（橋本博明） 歳入の範疇だと思うがいいか。

滞納整理の対応策として、預貯金調査を 277 件、給与の差し押さえを 1 件、国税の還付
金の差し押さえを 8 件、預貯金の差し押さえを 1 件、執行停止を 8 名になっている。

追加する。臨戸訪問は実績を取っていないが、主に納税相談ということで役場に来ても
らっているので、数字として取っていないが、臨戸訪問はやっている。

委員長（横山弘藏） 歳出全般について、ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認める。

総務課の皆さんはお疲れさまでした。

しばらく休憩する。

— 休憩 午後 1 時 35 分 —
— 再開 午後 1 時 40 分 —

（住民課保健関係、建設課、入室）

委員長（横山弘藏） 再開する。

第4款・衛生費について、ご質疑願う。

衛生費の1項・保健衛生費 (P105～P111) 黒崎委員

委員（黒崎政美） 衛生費の不用額について尋ねる。

1,700万減額補正していながら、370万ぐらいの執行残、不用額がある。これは、どうい
う事態が起きたのか。結構、衛生費だけでなく、不用額が今年はかなり大きいという感じ
を受けるが、どうしてこういう金額が出たのか説明を願う。

委員長（横山弘藏） 住民課長

住民課長（橋本博明） まず、住民課の範疇である保健衛生費の中の2目・予防費 113万
2,000円不用額が出ている。その主なものとして、次の110ページの4款1項2目12節・
委託料で、60万5,000円不用額が出ているが、これは主に予防接種業務の委託料で、乳児
の予防接種のように、ある程度誰がいつの時期に打つという予定が読めるものと、募集し
て人数がわかるものとあるが、そのような委託料の方で、年度末まで予算を落とさずに持
っていたもので、この残額が出ている。その他としては、108ページ需用費の38万6,486

円で、こちらは予防費なので予防接種の通知など、その他いろいろ消耗品などを予定していたが、手元にあったものを使用して購入しないなどで不用額が生じた。予防費に関してはそのような状況だ。

委員長（横山弘藏） 建設課長

建設課長（橋本 満） 建設課関連では、3目・環境衛生費が該当する。金額は67万1,120円で、そのうち1節・報酬が34万上がっている。これは、関連施設の草刈り等を、今まで賃金で組んでいた分を報酬で組んでいた費用が、自分達でできた分もあり、不用額が34万663円発生したのが主なもので、あと、それぞれの節で10万円以下の不用額が発生し、その積算のトータルが67万だ。

委員長（横山弘藏） 黒崎委員

委員（黒崎政美） だいたい答えはそのように予測はできていたが、当初予算を2億7,000万円組んでいて、それで途中で1,700万円減額した。尚且つ、繰越明許費を引いて、それでも373万不用が出たと。こういうことは、かいつまんで細かいことではなく、こういう理由でいろいろな事情があったということを答弁できれば十分だと思うが、細かいことを言ってもわからない。だから、本当だったら減額補正した。そして尚且つこうだった。どういう事情でこうなったかということを知りたいので、もう一度願う。

委員長（横山弘藏） ここの不用額はちょっと今説明されたね。それ以外に3百何十万に足したらなるということで。だから黒崎委員としては、今部分的に説明があった以上に何かあるかということか。だから、何かというのはどういうことを求めているのか。

委員（黒崎政美） だから、どうしてこのような多額の不用額が出るのかと。途中で計算して、減額補正をしていながら、途中で繰越免許費も入っているが、それでも尚且つ375万、全体にいくと830万ぐらいの不用額が出ているので、それはどういうことかと尋ねている。

委員長（横山弘藏） ということで、説明は。 住民課長

住民課長（橋本博明） 1項・保健衛生費の補正予算額1,775万円の減額のうち、1,805万3,000円が保健衛生総務費だ。これは、操出金等を減額したものだが、予測がつく減額がわかっているものは補正予算で減額しているが、先ほど不用額のところで説明した予防接種の委託料や、その他年度末まで事業があり、減額すると足りなくなる恐れのあるものもある。その予算を確保し、速やかに支出できる状況にするために減額しなかったもので、不用額が出ているという状況だ。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 110ページ、環境衛生費12節・委託料、海岸漂着物等地域対策推進事業で963万3,800円計上されている。これは、担い手公社に分別を依頼したと思うが、あのままなのか、搬出までこの金額でできなかったのか伺う。

委員長（横山弘藏） 建設課班長

生活環境班長（中野高樹） 担い手公社の委託は今年度分で、これについては町内の建

設業者が収集して運搬した費用の分だけだ。担い手公社の分別は、今年初めてやっている。

委員長（横山弘藏） 宮崎委員

委員（宮崎良保） わかった。確保するためのということだね。では、これはあのままにするのか。搬出処理はしないのか伺う。

委員長（横山弘藏） 生活環境班長

生活環境班長（中野高樹） 令和3年度の事業で、今回初めて分別をしたが、町外搬出するようにしている。先日、入札も終わった。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 2項・清掃費（P113～P117）

これも、かなり不用額が委託料で出ているが、何か主な原因があるのか。建設課班長
生活環境班長（中野高樹） 1目・塵芥処理費の委託料の不用額は、令和2年の11月にダイオキシンの超過による稼働停止があったが、その後修繕工事を経て、1月に再検査を行ったが、再び基準値超過になった。そこで、また町外の業者へ再検査調査を委託したが、新型コロナの感染が拡大して入島制限等があり、業者が小値賀に来られないという事態になり、準備をしていたが検査等ができなかったということが3月までずっと続いたので、不用額として残ってしまった。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認める。

住民課の皆さんはお疲れさまでした。

しばらく休憩する。

— 休憩 午後 1 時 57 分 —

— 再開 午後 2 時 05 分 —

（農業委員会、産業振興課、入室）

委員長（横山弘藏） 再開する。

次に、農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費についてご質疑願う。

第5款・農林水産業費の1項・農業費（P117～P127） 今田委員

委員（今田光弘） 農業委員会の成果報告書の中に書かれていることで、1つ伺う。

農転のことだが、農地法第4条・転用許可が3件、3筆出ているが、内容について、第4条なので土地使用者本人の転用だと思うが、これについて説明願う。

委員長（横山弘藏） 農業委員会事務局長

農業委員会事務局長（北村 仁） この令和2年度の農地法第4条・転用許可の件は、3件とも小規模の農業用倉庫だ。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

合計8,400万余りの不用額が出ているが、質問はないか。

園芸とか牛とか、質問はないか。

今田委員

委員（今田光弘） 農業振興費の中で、担い手公社の農業の研修生についての考え方だが、今まで割とミニトマト中心でやってきたが、特に令和2年度あたりを見ると、全国的にミニトマトのハウスでは食っていけない状況、これはたぶん気候的にもうまく合致して、全国で豊作だったことにもよると思うが、研修生が何を作るか、3年度はいろいろ他の事も考えているようだが、もう少し食っていける姿を見せた中で、研修生を育てていかなければいけないと思うが、地域おこし協力隊の絡みかもしれないが、その辺についての見通しをお聞かせ願う。

委員長（横山弘藏） 産業振興班長

産業振興班長（山元 忍） 農業研修については、委員言うとおおり、以前は「研修＝ミニトマト」という流れの強い事業だった。平成30年からだったと思うが、そういうミニトマト中心になりがちな研修事業の反省を活かして、地域おこし協力隊制度を活用した流れの中で、1年目は、町内で行われている様々な作付けの営農類型に対して研修を行ってもらい、残り2年では自分には何が合っているのか、どの作物を研修していくのかを見極めてもらうようにしている。その中で2年目から、自分が1年目に決めた品目に対しての研修を実施してもらっている。生活できるかどうかもだが、今実際に専業農家として生活している皆さんの中に入ることで、経営感覚なども学びながらの研修を進めている。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） 言うとおおり、実際に頑張っている園芸農家さんのところで、実際に見るのが一番いいと思うが、僕も担い手の研修生だったが、当時を思い出すと、作る方法ばかり教わって、どうやったら売れるか、売る方向を考えて教えてくれなかった。今も、自分が何の作付けをやりたいかもあるが、やはり儲かる農業じゃないとやっていけないので、担い手公社に言わなければならないことかもしれないが、どうやったら儲かる、食っていけるか、そちらをまずポイントにおいて、それから何を作るかという指導をこれからして欲しいと思ったので、よかったら一言願う。

委員長（横山弘藏） 産業振興班長

産業振興班長（山元 忍） 委員の言うとおおりと思うので、昨年からは農業経営の勉強会も、年に数度の頻度ではあるが開催しており、経営感覚や販売についての勉強会を、県の普及指導員の方にも来てもらいながら実施している。今後とも、栽培はもちろんのこと、経営感覚を身に着ける部分についても進めていきたいと思うので、よろしく願う。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 2項・林業費 (P127～P131)

ここは特に松の関係は多いと思うので、よろしく願う。

今田委員

委員（今田光弘） 松に関して、重要な、残さなければいけないところには樹幹注入でかなり効果が上がっていると思うが、樹幹注入自体の効果が5・6・7年、しかも2回位し

かもたない。14～15年先のことを考えると、もう枯れてしまうのではないか。それを見越して、今の段階では樹幹注入をして守っているが、それができなくなった時にどうするかという考えはあるか。

委員長（横山弘藏） 産業振興班長

産業振興班長（山元 忍） 委員の言うとおりの、樹幹注入は永遠にできるものではないという意見があるのは確かだ。一方で姫の松原は、昭和五十数年から施行しているが、1つの木に対して、3度、4度というクールに入っているのも事実だ。その中で、今、海岸防風林については、令和元年度に実施して、一定の効果がある。昨日、検討会を開いたが、来年度までは、今年度の山に枯れが残っている分の虫の発生を考えると、防除を適切に行わなければ難しいので、検討会で審議したとおりの、来年度まではしっかりと防除を行っていかねばと考える。ただその中で、防除を徹底することで虫の数を一定抑えることができる想定しているの、令和元年度に実施した効果が切れるまでの間に、虫の数を通常のレベルまで落とすことができれば、追加の樹幹注入は今のところ必要ないと考えて、今、事業を推進しているところだ。それについては、今後の状況を見ながら、随時、検討会で協議をしていくが、今のところそういう想定で動いている。ご理解とご協力を願う。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

12節、30万5,000円の報償費への流用は、不足して流れたのか。 産業振興班長

産業振興班長（山元 忍） 委員長の言うとおりの、30万5,000円、8万円、4万円の流用については、30万5,000円は報償費という形で、それぞれそうだが、地上散布の従事者の分で、今回無人ヘリの防除を中止して、動力噴霧器による散布に切り替えたことで、時期が5月6月の時期だったので、補正ではなく流用の方を使って、切り替えた方々への報償費等の関係に充てた。

委員長（横山弘藏） これは、やはりコロナの関係でそういうことが発生したのか。

産業振興班長（山元 忍） はい、コロナの関係で町外から来る方の航空防除、無人ヘリによる防除を中止して、職員・有償ボランティアによる動力噴霧器の防除に替えている。

委員長（横山弘藏） 林業費ほかにないか。

この予算書には直接関係ないが、今の松枯れの状況をずっと眺めていて、今後の見通しはどうか。なかなか判断は難しいか。今後の松枯れの推移はだいたいわかるか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 先ほど班長も言ったが、11月30日に、今年度の検討会を開催して、専門家からの意見ももらっているが、ご承知のとおり、もう斑の端まで被害が及んでいる。被害のピークとしては今年度で、来年度からはあまり枯れるところが、もうない状況なので収まっていくし、駆除量も段々と減っていく見通しである。

委員長（横山弘藏） 姫の松原は、一生懸命下刈りや樹幹注射をして守っているが、あそこは今後どういう対策で守るといえるのか、従来どおりの攻め方でいくのか。これだというの

はないか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 姫の松原の保全に関しては、今、委員長が言うように、下刈りとか松葉かきとか、私達や一般のボランティア達で進めている。今まで、あの道路沿いの林の中で、稚樹を見つけたことがなかった。ここ数年、そういった取り組みを進めるなかで、今年度初めて実生というのを林の中で見つけている。枯れ松の駆除で、太陽光が当たりやすくなった部分と、そういった保全活動が少し効果が表れてきていると思う。なので、次世代の松を育てる取り組みを今後していかなければいけないと思うが、一方で、先ほど班長も言ったように、樹幹注入を何回も繰り返している区域もある。そういった中で、専門の樹木医さんといった方々に見てもらい、意見を聞きながら、次世代をどうやって育てて守っていくか考えたい。

委員長（横山弘藏） 松の対策に並行して、松くい虫にやられないような樹木にするという計画は、確実に進んでいるということか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 委員長が言うのは、いわゆる「抵抗性松」か。

委員長（横山弘藏） それとか、松に代わる。

産業振興課長（中村慶幸） 県営の海岸防災林事業で、唐見崎で2年度から実施しているが、それに関しては、松に加えて広葉樹を4種類ほど加えて混植しているので、松がある限り、マツノザイセンチュウのリスクはあるので、たとえ抵抗性松といえども、枯れる可能性がある、常にリスクがある中で、その軽減のためにも混植という考え方は進めていきたいと思う。

委員長（横山弘藏） わかった。 今田委員

委員（今田光弘） 132 ページ委託料、大きな金額が不用額で、当然理由はあると思うが、自分の中では考えられなかったので、お教え願う。

委員長（横山弘藏） 産業振興班長

産業振興班長（山元 忍） これは、以前、全員協議会の中で説明した部分につながるが、今回、令和2年度については、国・県の補助事業で、今まで使用していた衛生伐事業という補助メニューから、今度は更新伐事業という補助メニューに切り替わることになった。その切り替わるタイミングが年度末になってしまい、県の担当も初めて使う事業で、県の中で単価をまた作らなければならないなどの事情が多々あり、予算も繰越予算があり補正ができない中で、繰越予算の財源に穴を開けないために、支出を意図的に絞った分が、この5,400万の不用額だ。

委員長（横山弘藏） ほかに林業ないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） **3項・水産業費** (P131～P141) 末永委員

委員（末永一朗） 主要な収益成果報告書には載っていないが、赤島の前の観光定置、こ

の先どのように取り組んでいくのか。今のままでいくのか、説明願う。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この小型定置に関しては、特定有人国境離島の漁村支援交付金を活用している関係で、事業に関しては引き続き取り組んでいてもらいたいと思っているが、課題として計画より水揚げがかなり下回っているという実情がある。その中で、漁協としても、道網の延長とか努力をしているが、まだ成果が表れていないのではないかと考えているので、引き続き、漁協の小型定置の運営に関する考え方も聞き取りながら注視していきたいし、必要な支援があれば、考えていきたい。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 141・142 ページに、バリアフリーのボーディングブリッジのことが出ている。以前担当の方と話したが、あれだけの装置になると、定期的なメンテナンスは必ず付いて回るものだと思うが、それについて今のところ計上されていない。その考えを聞かせ願う。

委員長（横山弘藏） 建設課理事

建設課理事（村田祐一郎） ボーディングブリッジは今年の3月20日から供用を開始しているが、今年度のメンテに関しては、貸し担保期間ということで、何かトラブルがあったら対応してもらうということで実施している。メンテナンス費用に関しては、来年度4年度から計上する計画だ。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 134 ページ、六島の漁港の中の藻場再生についてだが、町長の行政報告でだいたいわかったが、本当に来年頃はこの小値賀地区の方に移植されるものに育つような実績はあるか尋ねる。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 先日の、建設常任委員会でも話したし、町長の行政報告でも述べたが、網が破網するとか、何らかのトラブルがない限り、食害がカットできれば、狙った海藻が繁茂するというのは、今までの経験上も確実だと思っている。その中で、六島から小値賀本島とか、それ以外の地域に展開していくのは今後の課題だが、それについて先を見据えた展開を考えるように、係にも話をしているので、そのように努めてまいりたい。

委員長（横山弘藏） 末永委員

委員（末永一朗） 私の感じるところ、藻場の、今小値賀に生えている藻が、昔の藻と品質が変わった感じがする。その原因は何かわかるか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） なかなか難しい質問だが、海も山も陸もそうだと思うが、年によって、そこの海藻の形成、陸でいえば雑草とかも変わっていく。そういった中で、影

響として、前年の種の状況とか、その年の水温の状況とか、海況によって変わるものだと思うので、一概に言うのは難しいが、網仕切りしたりして、一定の海域を、いわば畑や田んぼのように捉えて活動すれば、ある程度決まった種類の海藻を、決まったところに生やすことは可能だと思う。それ以外の天然海域の状況に関しては、長年磯焼けの問題がある中で、実際、私より委員達がよくわかっていると思うが、小値賀の海も確実に南洋化していると思うので、その中で、南方系の海藻や魚種が増えてくるのは致し方ないと思う。

委員長（横山弘藏） 六島の港で、藻場の養殖をしているね。再生、研究は。そこで藻が育っているということは、食害が一番の原因か。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 以前も言ったかもしれないが、磯焼けに関しては、全国的な磯焼け対策のガイドラインと別に、長崎県独自のガイドラインがある。その中を見れば、長崎県の磯焼けの特徴として、今委員長がいう魚類による食害が最も大きいと分析されているので、私達も経験上そのように思っている。

委員長（横山弘藏） 松屋委員

委員（松屋治郎） せっかくここまでやるのであれば、小値賀の無人島の海藻の、六島みたいな実証実験ができるのであれば、先々その辺にも広げて胞子を飛ばすという考えはあるか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 先ほど末永委員の質問に答えて、小値賀本島での展開と言ったが、松屋委員が言うように、六島以外の漁港の活用が可能であれば、そういった二次離島での展開も可能だと考えている。

委員長（横山弘藏） 末永委員

委員（末永一朗） もう1点だけ、先ほど温暖化などの話が出ているようだが、小値賀の海も課長も知ったように急に変わってきている。珊瑚は増えるし、所によってはゴミだらけで、網も入れられないと東側、筒井浦の仲間は言うし、西は何も関係ない。ゴミはかからないし。だから、潮の流れが変わったのかわからないが、3年前位に中村副知事が来た時に、意見交換で私は言った。中村副知事は、県から専門家をやって、調査をさせると言ったまま来ない。こういうことを調査する必要があるのではないかと思う。今後の課題として、よろしく願う。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 県の動きとして、数年前に乙子島で水産試験場の事業として、ウニの身入りの実証事業をやったりしているが、それとは別に、もうずっと20年来、小値賀町にほぼ毎月来ている、水試の横にある水産技術研究所が、元々水産庁の組織が独立行政法人化された外郭団体だが、そこから来ているし、委員の皆さんも知っていると思うが、東京海洋大学の藤田先生も、最近来ていないが、定期的に訪れてくれている。また、北海道の企業が、うちの藻場礁を活用した実証事業、これは小発動の総会でも報告したと思う

が、そういった研究機関や民間の技術者等も定期的に小値賀町に入ってきているので、私達が行っている藻場の対策に関しても、その方達の調査結果や意見等を参考に取り組んでいるところもあるので、その辺は続けていきたいと思うし、もっと小値賀に入ってきている研究者の動きに関して、議会の皆さんにも周知できるように努めていきたいと思う。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 成果報告書 28 ページの観光ダイビングについて質問する。

観光ダイビングについては、地域おこし協力隊で 389 万 5,000 円となっている。そしてその下に、観光ダイビング推進事業として 177 万 3,000 円、これはウニの駆除による地域貢献活動を含めたダイビングツアーの実施ということで、ダイビングショップから 5 組 29 名、専門学校から 1 組 7 名ということで来ているが、この観光ダイビングは今年度から本格的にやったが、何人観光ダイビングで観光客が来たのか載っていないので、その辺の数字がわかればお答え願う。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 観光ダイビングの実績に関しては、成果報告書 26 ページ中段下に 9 件 56 名の受け入れと書いてある。それと、主要事業一覧表 11 ページ、No. 64 の成果・達成度の中にも記載している。

委員長（横山弘藏） 宮崎委員

委員（宮崎良保） この地域おこし協力隊の山本君がもう今年で卒業になる。今後も継続的にやる予定はあるか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 委員の言うとおりの、今月の 16 日で 3 年間の期間を満了して卒業するが、今後も引き続きショップの経営を行っていくようになっている。町としても体験プログラムの中で、既に実施しているが、磯焼け対策と絡めた体験・資源保全型の体験プログラムというのをこれからも続けて欲しいと思っているし、その辺の公的に必要な部分に関しては連携して、また支援も随時行っていきたいと思う。

委員長（横山弘藏） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 運営費として補助するという考えもあるのか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 現時点での私見だが、運営費を補助するという考え方はない。先ほども言ったように、町の課題として、磯焼け・藻場の改善があるという中で、町の課題と観光ダイビングを結び付ける、公益的に意義がある取り組みに関して、委託事業等で発注することはあるかと思うが、経営が苦しいからといって、それに対して支援をすることは考えていない。

委員長（横山弘藏） 松屋委員

委員（松屋治郎） 今の件だが、せっかくここまでやってきて、小値賀の海の良さがわかった部分も多いと思う。これを、ふるさと寄附金の返礼品にこの体験というのを多めにア

ピールしたらどうかと思うが、どうか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 今、ふるさと納税の返礼品の方にも、小値賀のように生産規模が小さいところは「来ていただいて」というところも大事だと思うので、参考にさせてもらう。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 第6款・商工費（P141～P149） 黒崎委員

委員（黒崎政美） 今回私は、不用額をテーマにしようと思う。例年に合わせて今年度は非常に不用額が多い。商工費にもそういうことが見られる。970万の不用額が出ているが、これはどういうことか具体的に願う。

委員長（横山弘藏） 産業振興課理事

産業振興課理事（松崎久幸） 今回の不用額について、一番多いところは観光費の18節、負担金、補助金及び交付金だ。この中で不用金のトータルが491万円で、例えば佐世保・小値賀観光圏整備事業負担金の中で不用額が190万円出たり、五島列島おもてなし協議会とか、国境離島滞在型の交付金を使っていて、清算形式になっているのだが、補正予算で減額に間に合わない部分があり、それを清算した結果、不用額となっているのが多い。特に五島列島おもてなし協議会と西九州させば広域都市圏形成事業に関して不用額が多く出ているという実態だ。

委員長（横山弘藏） その間に合わなかったのは、事務的ミスではなくて、やむを得ない事情があったということか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課理事

産業振興課理事（松崎久幸） 実績報告については、2月末までの実績になるので、実際の作業は3月中にまとめて県に報告するようになっていて、ギリギリまで支出もして清算もして実施しているので、間に合わない部分が多いというのは実情だ。

委員長（横山弘藏） 黒崎委員

委員（黒崎政美） 間に合わない、どうのこうのというのは、どこの部署でもそういう答弁だと思うが、途中で240万補正している。それで尚且つ、このような多額の不用額が出た。どういう答弁をしようが納得し兼ねるという部分もあるが、納得のいくように説明願う。

委員長（横山弘藏） 途中だが、10分間休憩する。

— 休憩 午後 2時48分 —

— 再開 午後 3時00分 —

委員長（横山弘藏） 再開する。 産業振興課理事

産業振興課理事（松崎久幸） 黒崎委員の言う、補正予算額の239万8,000円だが、これは年間通して増減の積み重ねで、前年度に増額補正をした分は、きちんと執行している。

例えば、観光振興事業補助金を昨年の第7号補正予算で105万3,000円上げているが、これについては、実績として使用しているし、例えば第9号補正で「しま旅滞在促進事業」の負担金を130万程増額補正したが、これも事業として翌年度に繰り越して使うことになっているので、これについて不用額が出ているという考えではない。なので、この不用額に対してというよりは、増額補正した分についてはきちんと執行しているつもりだ。

委員長（横山弘藏） 黒崎委員

委員（黒崎政美） であるなら、2回に渡って追加補正しておるといふことか。追加補正額より大きい金額が不用額として残るといふ点についてはいかがか。簡単に願う。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 先ほど理事が言ったとおり、観光費の事業の中で事業ごとに予算を積算して計上して、県の事業等の負担金に応じて補正をしているが、一方でこれだけの不用額が出ていることに関しては、先ほど説明したように、五島列島おもてなし協議会の負担金やさせば広域観光圏の負担金など、事務局がそれぞれ外にあるので、精算事務に関して私達が直接関わることができないという部分で、当然、精算を急いで欲しいとお願ひするが、一方で年度末まで事業を行っている関係で、なかなか精算ができないといふのが、2年度に限ったことではなく、ずっと続いているような状況で、なかなかそこはクリアできない課題になっているので、事業ごとに予算を組んだ中で、増額補正すべきは適切に対処して事業も行ったが、一方では当初から上げている負担金が大幅に残っている。先ほど言ったように事務局機能が別にある、なかなかそこがコントロールできないといふ事情があるので、ご理解願う。

委員長（横山弘藏） 黒崎委員

委員（黒崎政美） 私がわからないところは、当初から負担金はいくらか決まっているなら、その額を支払えばいいことであって、なぜわざわざ4月以降にずれてくるのかわからない。

委員長（横山弘藏） 産業振興課理事

産業振興課理事（松崎久幸） 負担金の中に、例えば先ほどから言っている、おもてなし協議会の負担金があるが、これについては「クリシタン物語ツアー」や「ガイドツアー」などの事業を実施するものも含まれている。この中で、令和2年度中にコロナ禍でできなかった分について、当然、減額になるが、その実施の見極めもギリギリまでやって、最終的に減額になったと、実施できなかったことにより減額があったので、補正に間に合わないといふ意味だ。

委員長（横山弘藏） 黒崎委員

委員（黒崎政美） それが事実であると、あなた達のいふことを信用して、この件に関しては納得することにする。私の質問は以上だ。

委員長（横山弘藏） 松屋委員

委員（松屋治郎） ウェディングプラン造成事業について伺う。

今まで、これは2回目だったか1回目だったか、どのような成果があり、どのような波及効果を狙ってやっているのか、私達には見えづらいが、今後どのような考えでやるつもりか伺う。

委員長（横山弘藏） 産業振興課理事

産業振興課理事（松崎久幸） ウェディングプラン造成事業については、令和元年度に引き続き、令和2年度も実施しており、令和3年度まで実施する。令和元年度は初年度ということで、モニターツアーの実施をした。令和2年度は、それを商品化するべく「模擬ウェディング」と「フォトウェディング」の造成を委託して、プランとして造成している。今年度については、当然、それを販売に繋げないといけないので、販売のためにアイランドツーリズム協会が研修等を、前年度受けて実施しているが、コロナの影響もあり営業に行くことができなかった。代わりに、屋外でのウェディングは天候に左右されるので、3年度に関しては、古民家を活用したウェディングを造成していて、来年度については、できれば販売をしていく。来年度は、町からの補助金を出すことは今のところ考えていない。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 雇用機会拡充事業だが、以前も質問したことがあるが、ほとんどの事業者が一生懸命やっている中で、どうもこれは適正に使われているのか、雇用を、確保できてないのではというケースが、僅かながらあるようだが、いかがか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課理事

産業振興課理事（松崎久幸） 雇用機会拡充事業について、初年度から3年度までが、実施計画の中に含まれていて、3年間の中で必要な雇用人数の達成を求めていく必要がある。もちろん小値賀町に至って、雇用を募集してもなかなか見つからないこともあり、うまくいっていないところも見受けられる。県独自になるが、3年間では追い付かない部分もあり、4年、5年と雇用の計画が達成できているかについては、後追い調査をするようになっているので、引き続き事業者と町と連携して、確実な実施ができるように伴走していければと思っている。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 松屋委員

委員（松屋治郎） これは、雇用促進の意味で行っているのだろうが、それに対して計画書を出して、それでも雇用していない。しかし、助成金は貰っていると。この罰則規定じゃないけど、返還される部分はないのか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課理事

産業振興課理事（松崎久幸） 罰則規定というより、返還義務が生じることとなっているが、全国的に見ても、今のところ返還した事例はないと聞いている。ただやはり、どうしても悪質だというのが、実績ベース、後追い調査でわかれば、県・国と相談した上で、補助金の返還について求めるというのも、今後、もしかしたら出てくるかもしれない。出てこないことを祈るばかりだ。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 園地のことだが、年間通して綺麗な状況で、周囲の木を切ったりして、観光客の評判もだいぶいいと思う。町長が、園地・トイレも綺麗にしようとしているとおりに思うが、園地以外の、例えば斑のサンセットポイントあたり、たしかに木を切ったり草を払ったりしているが、もう少し下のところまで伐採すると、もっとインスタグラムうけすると思うし、トイレについても、園地以外で、もうそろそろ更新すべきところもあると思うが、それについてはいかががお考えか。

委員長（横山弘藏） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 斑のゆうやけロードに関しては、サンセットポイントがあり、今田委員が言うように、私も気になっている。事業として基幹農道ということで、農地費で、委託で除草作業を出しているが、それではやはり、当然農道の委託事業なので、道路の路肩の幅1メートル位という条件、仕様で出している。その先は竹が生えてきており、1～2年もするとサンセットポイントが竹で覆われるのではないかと心配しているので、それに関しては問題意識を持っているので、対処の仕方を今後検討していきたいと思う。

それから、トイレに関しては、今回12月15日に予定している中学生の模擬議会でも、トイレの問題の質問が出ている。公衆トイレに関しては建設課で、それから園地等に関しては島在の園地の管理を産業振興課で委託を出しているが、それも併せて管理をしている中で、老朽化しているところもあるので、トイレに関しても今後、整備計画等が必要になってくると思っている。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

今田委員

委員（今田光弘） 事業評価一覧11ページ67番の一番下、地域おこし協力隊の藤松の調理補助をしている方だが、この中で「面談をおこない、卒業後、島外に出て料理修行予定であることを確認。」と書かれている。いろいろ事情があってしょうがないと思うが、元々地域おこし協力隊とは何かと考えた時に、理想論で言えば、当然卒業後も小値賀に残るのが本来の目的だと思う。途中で変わったのかもしれないが、これが許されるのであれば、単なるアルバイト的なものを国がお金を出して雇うと思える。中には一生懸命頑張っている飲食店もあるので、地域おこし協力隊の基本的な考え方について、この場合、本当にこれでいいのかという疑問についてお聞かせ願う。

委員長（横山弘藏） 総務課長

総務課長（谷元芳久） 地域おこし協力隊の担当課なので、総合的なことで私の方から答える。地域おこし協力隊については、うちの方でいろんなものの委託事業を行ってもらい、それから定住に結び付けるのが基本であるが、今回は地元の方だが、絶対に帰って来ないというわけではないと思うが、修行してから帰ってくることを期待しているが、今後はそういったことも、基本的に小値賀に残るようなプログラムも含めて、どういった支援を行って、残っていくかを検討しながら、できるだけ定住に向けて、こちらも関係機関と協議していきたいと思う。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） 料理の修行となると、3年間では当然足りないのはわかっている中で、来てもらう最初の段階で、小値賀の地域おこし協力隊3年間でこれしかできないと明示して、相手と上手くマッチングした時に採用していいわけで、もしそれで、この方がいなくなった後、また藤松で地域おこし協力隊を入れる。で、また一生懸命やっているが、2年3年経ったらまた出ていくとなると良くないので、その辺については心がけてもらいたい。先ほどそういう発言だったが、是非そうしてもらいたいと思う。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 事業評価一覧6ページ、自然学塾村の管理がアイランドツーリズム協会へ404万3,000円となっているが、昨年は大幅に利用客が減ったということで、ここに書いてあるように、グランドの陥没修理が令和3年度へ繰越。大幅に利用客が減ったことが理由で繰越なのか、どういう関係で来年度に繰越なのか伺う。

委員長（横山弘藏） 産業振興課理事

産業振興課理事（松崎久幸） 野崎島の自然学塾村前のグランドの陥没工事は、県が所管している工事で、これについては、令和2年度から何回も入札をしていたが、すべて不落となっており、今年度の9月だったと思うが、ようやく落札をして11月前半から工事に入れることを確認している。できれば年度内に終わって欲しいと思っているが、時化も当然あるので、もしかしたら繰り越しになるかも知れない。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 松屋委員

委員（松屋治郎） 西九州させば広域都市圏形成事業に、広域連携による周遊観光の推進とかいろいろ書いてあるが、この中で、佐世保の高速船乗り場の整備は議論できないものか。結局、ああいうところも観光客にとって安全性が大事なので、そういう面を強く訴える機会にして、促進できないのかと思うが、どうか。

委員長（横山弘藏） 町長

町長（西村久之） 佐世保市の高速船の棧橋ことだと思うが、この中で意見を言っているかわからないが、言っているとは思いますが、前の町長の時から棧橋の改修工事については、佐世保市に申し入れを商工会も一緒になってしているはずだが、それから何も返事がない。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 第7款・土木費 (P149～P155)

ないようなので、委員長からひとつ聞きたいと思う。1項1目・土木総務費の12節・空き家台帳システム整備業務委託料55万9,900円の、今の稼働状況について報告願う。

委員長（横山弘藏） 建設課理事

建設課理事（村田祐一郎） 昨年度、空き家台帳システムを整備して、今、空き家のわかっている分を入力している状況だ。

委員長（横山弘藏） その空き家の状況について何か把握しているか。実際の業務内容は。

建設課理事（村田祐一郎） 今わかっている、主に笛吹地区の空き家調査を行ったデータ

の情報を入力している段階だ。

委員長（横山弘藏） 空き家の戸数とか、今わからないか。 建設課理事

建設課理事（村田祐一郎） 今 28 年 29 年の時に調査したデータを入力している段階なので、まだ今ここで詳細な件数は言えないので、入力後にしたいと思う。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 第 10 款・災害復旧費 (P191～P193)

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） それでは、農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費全般についてご質疑願う。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 質疑なしと認める。

建設課・農業委員会・産業振興課の皆さんお疲れさまでした。

しばらく休憩する。

— 休憩 午後 3 時 28 分 —

— 再開 午後 3 時 35 分 —

（福祉事務所・こども園、入室）

委員長（横山弘藏） 再開する。

次に、福祉事務所・こども園関係の歳出について、ご質疑願う。

第 3 款・民生費の 1 項・社会福祉費 (P91～P97) 今田委員

委員（今田光弘） 執行部から貰っている、主要事業実績及び事業評価一覧だが、昨年、今年と充実していて、おかげですごく助かって、チェックできるが、民生費関係、社会福祉事務所関係がないので、できればこういうような感じで作ってもらいと、わかりやすいと思うが、いかがか。

委員長（横山弘藏） 総務課長

総務課長（谷元芳久） 主要実績の事業評価一覧については、総務課がまとめているので、事業に関わらず、資料を追加する。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 一人暮らしの高齢者見守り生体センサーがもう終わることが書かれているが、全国的に見ると接触型ではなく、無接触型の導入を進めているところが多いと思う。要はベッドに仕掛けるのではなくて、例えばエアコンの下に機械を付けるとか、あの時もそういう発言をしたが、接触型の生体センサーがあまり効果的でなければ、次のを探していくのもひとつ考えた方がいいと思うがいかがか。

委員長（横山弘藏） 福祉支援班長

福祉支援班長（浦 鉄兵） 生体センサーについては、やはり夜間の見守り等対応できるものがなくて、今回、小値賀町の方にそぐわないということで、令和 2 年度をもって終了

した。今後の新しい見守りの分だが、県で見守りネットワーク推進協議会があり、ICT関係の情報を仕入れながら、小値賀に合うものを探していきたいと思う。一点気になっているのが、まだ、事業化は考えていないが、宅急便の方で電気に取り付けて、一定時間、電気の点けたり消したりがなければ、息子さんであったり、小値賀町のクロネコ宅急便の職員のところ連絡がいくシステムがあるという情報が入っているので、そういうのも含めて、今後検討していきたいと思っている。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 独居ベルについて伺う。今はもうたったの2軒になっている。それで、一人暮らしの人は大丈夫かと思うが、こないだも斑で一人暮らしの人が亡くなっていたが、今後の対策は考えているか。

委員長（横山弘藏） 福祉事務所長

福祉事務所長（前田達也） 独居ベルについては、今設置してある分に関しては、需要がなくなるまではとりあえず設置はそのままにしておきたいと思うが、新規については今のところ行っていないという状況だ。そういう要望等があった時に、ひとつ私達の方で推進しているのが、産業振興課の方で「えらかさるんな」の電話の勧誘等を予防するための装置がある。それに電話を付けると、ボタンひとつで、直で電話が設定したところに繋がる機能があるので、それを推進しながら、できれば移行していきたいと考えている。

委員長（横山弘藏） 末永委員

委員（末永一朗） これだけ高齢化になってしまえば、やはり民生委員の仕事は大変だと思う。民生委員の仕事は、だいたい私も会長だった時に資料を持っていたが、一カ月ごとに調査して、住民課に出すことになっていたが、私のところはもう2年になるが、民生委員の方は誰も一回も来ない。だから、必ず一人暮らしのところは、回って調査するような指導をして欲しいと思う。よろしく願う。

委員長（横山弘藏） 福祉支援班長

福祉支援班長（浦 鉄兵） 委員の言うとおりの、民生委員の方々とは情報共有しながら、しっかり高齢者の見守りや、それ以外のいろんな気になる方の訪問等も続けてもらうよう協議をしたいと思う。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 2項・児童福祉費 （P97～P101）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 3項・生活保護費 （P101～P105） 黒崎委員

委員（黒崎政美） 生活保護費の件について質問する。不用額が490万ある。補正予算で620万組んでおきながら、490万の執行残が残っている。これはどういうことか伺う。

委員長（横山弘藏） 福祉事務所長

福祉事務所長（前田達也） 今回の不用額については、ほとんど扶助費だ。扶助費の内容

については、生活扶助費と医療費扶助費、それから介護費扶助費があるが、その中でも医療扶助が 480 万程残っている。これに関しては、当時、入院していた方ので少し多めに予算を計上していたが、1名亡くなったので、その分が残った。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 4項・災害救助費 （P105）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） それでは、民生費全般について、ご質疑願う。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） それでは委員長の方から、生活保護費の1目・生活保護総務費の12節の生活保護パッケージシステム委託料について説明願う。118万8,000円。

委員長（横山弘藏） 福祉事務所長

福祉事務所長（前田達也） このシステムについては、生活保護の可否、ある程度の審査をする機能と併せて、その方の生活基準の金額あたりの算定をするシステムだ。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

黒崎委員

委員（黒崎政美） 母子福祉費の件だが、ここで49万6,000円補正している。おそらくその後だと思うが、予備費から98万。不用額は20万足らずだから問題はないが、補正の時にこの計算ができなかったのか。当初予算で930万あった。それで、補正が49万6,000円で、予備費が98万。ちょっとこれは、逆なら納得いくかもしれないが、予備費の方が多いと。これはどういうことか。

委員長（横山弘藏） 福祉事務所長

福祉事務所長（前田達也） まず、予備費から98万円流用されているが、ひとり親世帯臨時特別給付金が6月に支給が決定し、支給している。その後に、12月にもう一回支給するように国から通知があったが、そのスケジュールがタイトだったため、執行部に相談をして、予備費を使って、不足分の98万円を流用して給付金を支給した。その後に、今度は年度末ギリギリまで受付をしていたが、要するにコロナにより家計が困窮した世帯、一定の収入が減った世帯の申請があり、件数が想定より上回ったため、それが年度末に今度は流用という形で行った。予備費が多くなっているが、これが12月に予備費からの流用で、年度末に行った。

委員長（横山弘藏） 黒崎委員

委員（黒崎政美） そういうことなら適切に処理していると思う。不用額も19万6,000円位なら妥当だ。以後も注意して、そのような経理の仕方をやって欲しいと思う。以上だ。

委員長（横山弘藏） 福祉事務所長

福祉事務所長（前田達也） 今後も事務手続きは適正にやっていきたいと考えている。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 質疑なしと認める。

福祉事務所・こども園の皆さん、お疲れさまでした。

しばらく休憩する。

— 休憩 午後 3 時 55 分 —

— 再開 午後 4 時 01 分 —

（教育委員会、入室）

委員長（横山弘藏） 再開する。

次に、教育委員会関係の歳出についてご質疑願う。

第9款・教育費の1項・教育総務費 （P159～P165） 黒崎委員

委員（黒崎政美） 不用額があまりにも多いので、この説明を願う。

委員長（横山弘藏） 何ページの不用額か。

委員（黒崎政美） 教育費、160 ページ。

委員長（横山弘藏） 1,576 万 6,000 円。

委員（黒崎政美） 162 ページも不用額が 100 万を超えているのが、ひどいものになると 740 万もある。これはどういうことか。教育委員会費で減額補正して、あと 700 万とか、とても考えられない。こんなことがあり得るのかと思う。全体で 1,500 万位ある。この説明を願う。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） 黒崎委員の言うように、毎年不用額が出ていることに対して、まずお詫びを言いたいと思う。職員も、当初予算・補正予算を編成する段階では、精査しながら見積もりを行って、執行に当たっている。しかし、今年度についてはコロナ禍もあり、事業の執行ができなかったものもある。ということで、1,500 万を超す執行残になったことについては、私の管理責任を感じている。大きな要因としては、繰越事業となったふるさと留学生寮 8,575 万 5,000 円をはじめとし、教職員住宅の建設工事に伴う、入札執行残が約 580 万程の執行残が大きく残ったのが大きな要因だ。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 黒崎委員

委員（黒崎政美） 執行残が決定したのは何月か。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） あくまで、執行残が決定したのは3月末だ。

委員長（横山弘藏） 黒崎委員

委員（黒崎政美） 社会教育費、これもかなり多額だが、だいたいの予想はついているが、これはどういうことか。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） 社会教育費についての執行残の伺いでいいか。

委員長（横山弘藏） 今、教育費の総務費からやっている。項ごとにやっている。

教育の総務費で、まずやっているなので、よろしく願う。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(横山弘藏) 2項・小値賀小学校費、4項・小値賀中学校費 (P165~P175)

宮崎委員

委員(宮崎良保) 主要施策の成果報告書41ページ、学校支援員配置事業で412万8,000円計上されている。ICT教育や特別支援教育を支援するために支援員を配置するということだが、この支援員は年間を通して配置するのか。1人なのか、何名なのか伺う。

委員長(横山弘藏) 教育次長

教育次長(永田敬三) 学校支援員配置事業については、委員の言うとおりのICT教育の支援をするため、1名を現在中学校の方に支援員として配置している。年度当初から1年間を通してICT教育の推進を図るために人材を支援している。

委員長(横山弘藏) ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(横山弘藏) 7項・社会教育費 (P175~P187) 黒崎委員

委員(黒崎政美) 先ほどは失礼した。ここで、490万位の不用額が生じて記載されている。これも減額補正を87万8,000円。それで当初予算が5,800万で、執行されたのが6,600万。4,494万がどうしてこのようになったのか、減額補正の時にもしもわかっていたら、この時点で考えられたのではないかと、それ以降に発生したらやむを得ないと思うが、740万の減額補正をして、さらに不用額が発生した。この説明を願う。

委員長(横山弘藏) 教育委員会班長

教育生涯学習班長(大田義嗣) 社会教育費で449万4,300円の不用額が発生しているということで、目が7つ程あるので、それぞれに要因を述べる。まず、社会福祉総務費については、ほぼ補助金の実績に応じての残になるので、3月末締めで補正には間に合わなかった。続いて2番の公民館費26万ちょっとの残は、ほぼ需用費の残で、こちらは様子見でしていた。総合センター費の方が少し大きくて114万余りの残が出ているが、水道料・電気料、そういったものの確定はどうしても翌年の頭の方にずれ込むので、こちらも間に合わなかったのが正直なところだ。歴史民俗資料館については、主に会計年度任用職員を雇用していたが、その方が10月末で辞めて、後任を有償ボランティアで対応していたが、開館日が当初は週6開館で通常していたが、コロナの影響で週4に変更した影響があったため、その分の残が残っている。文化財保護調査費については、文化的景観保護推進協議会を開催予定だったのが、コロナの影響で呼べなかったり、あるいはオンラインで開催したり、そういうことで残が発生している。図書館費については、ほぼ消耗品の残だ。世界文化遺産保存活用推進事業費については、登録市町の負担金がコロナの影響で少なくなり、その実績に応じて残が発生しているという状況だ。以上で、9.7の不用額の説明とする。

委員長(横山弘藏) ほかにないか。 黒崎委員

委員(黒崎政美) 概ねわかったが、文化財保護調査費の中で、予備費及び流用増減の欄で、61万減額している。この時点で61万円位の減、私は予備費及び流用の増減はよくわか

らないが、減額しているのにさらに 123 万 9,000 円の執行残があった。この兼ね合いはどのようなことか。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） 文化財保護調査費については、先ほど班長も答弁したが、流用については、人件費の報償費に流用している。これについては、歴史民俗資料館の人件費分に流用した関係で減額とした。執行残については、1 月末で、だいたい補正を見込むが、その段階でまだ 2 月 3 月という期間が残っていたので、開館を見込んでいたが、コロナの影響を鑑み、2 月を臨時休館とした関係で、このように不用額が生じたことが大きな要因だ。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 事業評価一覧 10 ページ、先ほど言った、文化財保護調査費について質問する。これは、町内に所在する文化財に対して適切な保存と管理を行うということで、将来に残す文化財として、又は観光の目玉として、重要な事業だと思う。その中で、業務委託関係は概ね計画通り実施することができたが、コロナ禍の影響で彫刻調査を実施することができなかった。課題として、指定文化財の適切管理と未指定文化財の把握と保護。解決方針として、文化財保存活用地域計画の早期策定となっているが、この文化財保存活用地域計画の早期策定は、いつ頃までを計画して策定をするつもりか伺う。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） この件は、教育委員会としても非常に重要な案件と思っている。町長部局とも調整しながら、今後、保存活用地域計画については、早期策定を目指したいと思うが、長崎県が令和 2 年度に、たしか県の計画を策定している。それを受けて、県内でも平戸市あたりが先行して計画を策定しているので、今後担当者と研修をして、町独自のそういった文化財保存活用地域計画の策定を進めていきたいと思う。内容については、ここにも書いてあるが、担当としては個別のカルテ、いわゆるひとつひとつの文化財についての資料作成は進行しているが、町としての全体的な保存活用計画について、今後、計画を策定していきたいと思っている。時期については、総合計画に記載しているが、正確な年度は覚えてないので、後で報告する。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 今の文化財だが、地上に見える文化財と、場合によっては地下にある文化財があると思うが、今、各ひとつひとつについてカルテを作っているということだが、町全体として、1 番の円の中に、どこの文化財、例えば地下内で言えば構造地とか、あと上にあるものであれば、どこがこういう文化財だという、これからはもちろんやっていくのだろうが、それがあると重要文化的景観を含めた中で、いろんな考え方が見えてくるので、もしかしたら今あるのかもしれないが、僕の中では持っていないので、そういうのを作ってもらえるとよりわかりやすくなるが、作る予定はあるか。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） 計画については今から中身は詰めていきたいと思うが、当然、活用の部分で、観光サイドや地域振興サイドと意見をすり合わせながら、作っていききたいと思うので、その辺の中身については町長部局とも連携して、文化財としては守るべきもの、まちづくりについては活用の部分で、お互い話し合いながら中身の充実したものにできればと考えている。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） それも大事なことだが、まずとりあえず、活用する、しないではなくて、現況、何があるのかをベースにしないといけない。その後、観光に活かすとかだと思いがいかがか。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） 委員言うとおりの、まずはあるものをしっかりと整理して、その後に活用という形で考えている。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） 先ほど答弁漏れをしていたので答える。保存活用整備計画については、総合計画の中に記載してある令和5年度を目標値として考えている。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 教育次長

教育次長（永田敬三） 先ほどの今田委員からの質問で、補足をする。現在、町内に52の文化財があるが、それについては担当の方でしっかりとしたリストをまとめている。さらにひとつひとつについて、活用できるようカルテという形で残していきたいと考えている。今後については、委員から提案があったが、町内の管内図に位置を落として、わかりやすい形で作っていききたいと考えている。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） 輪をかけて言うと、小値賀は重要文化的景観もあるし、西海国立公園もあるし、西海国立公園の中でも特別地域があるので、全部それが重ねられるような図面を是非作ってもらいたいという事だ。以上だ。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） その辺をしっかりと踏まえて作成していきたいと思う。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 8項・保健体育費 （P187～P191）

委員長から尋ねる。2目・学校給食費の中の1報酬の学校給食共同調理場運営委員会委員報酬、予算は3万円で不用額が9,000円。こういう学校給食の委員会で、どういうことが話し合われているのか。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） この学校給食共同調理場運営委員会については、学校給食に関す

る運営について話し合いをしてもらっていて、だいたい年2回の定期的な会を開催している。昨年度については、コロナ禍によって臨時休校もあった時の給食費の清算の仕方についても、保護者の代表も入っており、学校サイド、保護者サイド、そして地元の事業者さんも入ってもらっているので、地元の事業者さんの立場の意見ということで、学校給食に関連する委員さんに出てもらい、学校給食のあり方について協議をする場としている。

委員長（横山弘藏） もう1ついいか。給食費の中の食材の約6割は、地元から購入しているということで、残り4割、40%はたぶん地元以外から購入していると思うが、そういったものは、地元では調達できないものとはどういうものがあるか。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） 主なものとしては、牛乳がほぼ半分位は占めている。それと、県学校給食会にお願いして、小値賀にないような揚げ物というか、小値賀にないものだけを一応県の学校給食会を通じて、食材を仕入れている。特に、ハムとか加工品だ。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。 松屋委員

委員（松屋治郎） 学校給食食材購入費補助金、これはどういうものか。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） 学校給食当初から、地産地消を推進する観点から、学校給食に地元の食材をなるべく活用するという町の方針だったので、特に主食である米も小値賀から入れているし、野菜も愛菜市を通して入れている。また、地元の事業者についても月の持ち回りということで、小値賀にある食材について購入した分を補助している分だ。食材費補助として、約100万、それと多子世帯補助ということで約100万、合わせて207万9,000円だ。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） 説明が的確でなかったようだ。学校給食共同調理場運営協議会の方に、地元の食材を購入した分を町が補助している。それで保護者は、当然給食費として納める分があるので、それを差し引いた差額分を町が支援しているという形だ。給食に係る食材費が100あったとする。例えば、そのうち保護者からもらった給食費が50だとすると、100のうち50が保護者の負担なので、その引いた50の分を食材に係るものについては町が補助するという形だ。

委員長（横山弘藏） しばらく休憩する。

— 休憩 午後 4 時 36 分 —
— 再開 午後 4 時 38 分 —

委員長（横山弘藏） 再開する。

ほかにないか。

末永委員

委員（末永一朗） 一点だけ尋ねるが、水産加工施設の中村さんに聞くと、魚も給食で出していると聞くが、私も軌道に乗るまで無料で提供するといつて、ヒエダイとかオジサン魚とかナベタ、そういうものを700グラム以上のを欲しいというから、提供してきたが、

どのようなメニューが出てきたか、わかる範囲で願う。

委員長（横山弘藏） 教育次長

教育次長（永田敬三） 魚の調理というかメニューについては、切り身で仕入れている。生では当然出せないの、フライとか煮付けたりして出している。ただやはり、委員も言うように、規格というか大きさが、学校給食の求めるものが、子どもの年齢というか、成長段階によって違うので、それに合わせるのが、非常に現場サイドは苦勞しているという話を聞いている。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） それでは、教育費全般についてご質疑願う。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（横山弘藏） 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

教育委員会の皆さん、お疲れさまでした。

しばらく休憩する。

— 休憩 午後 4 時 40 分 —

— 再開 午後 4 時 44 分 —

委員長（横山弘藏） 再開する。

一般会計について質疑を行ってきたが、特別委員会として、本日は一般会計についてのご意見を伺い、整理をしたいと思う。

それでは、どなたからでも結構なので、ご意見を願う。 今田委員

委員（今田光弘） 一般会計を通して感じたのは、黒崎委員が何度も言っていたが、不用額が多い。ただそれは、コロナ禍の中で仕方がなかった部分は当然多いが、どうもコロナ禍で逃げているといったら表現が悪いが、コロナだからというような、いい加減な部分を感じた。だから、2年度は良かったとしても、令和3年度、同じようなコロナ禍だからという言い訳は通じないと思うので、その辺はしっかり見ていきたいというのを強く感じた。

委員長（横山弘藏） ほかに。黒崎委員、不用額についてないか。

委員（黒崎政美） 例年に比べてあまりにも多かった。何でもすべて、コロナコロナと。それで、私の質問に対して的確に答えたのは、前田前総務課長。ああいう答弁が私は欲しかった。あと私いろいろ言ったが、とにかく言うようにコロナでぼかしてしまう。で、昨年倍ぐらい、監査委員あるのではないかと、不用額が。

委員長（横山弘藏） 倍はない。

委員（黒崎政美） とにかく、議員になって、このように不用額が多かったのは初めてだ。それで、あまり聞かなかったが、予備費を上手く使っているところもある。今までは、予備費予備費。で、一般会計だから、我々は高を決めれば何も文句はないわけだが、どんなことに使ってもいいわけだが、やはり前田前総務課長のところは、わりかし綺麗にしてい

たと感じた。

委員長（横山弘藏） わかった。宮崎委員、何かないか。

委員（宮崎良保） 言いましたので、それ以上のことはない。

委員長（横山弘藏） 末永委員、何かないか。

委員（末永一郎） 西町長の時も、「お前ら予備費ばかりしていると事業が先に進まない」と言われたこともあったが、あまりにも酷すぎると思う。コロナ関係で。来年からこういうことが増えないように、もう少し執行部も考えて取り組んでもらいたいと思う。以上だ。

委員長（横山弘藏） 松屋委員、何かないか。

委員（松屋治郎） コロナのせいということで、逃げているということも多少はあるかもしれないが、政治自体がふらふらした中で、執行するのか執行しないのかどういう方法でやるのか、国自体の大本がふらふらしている中で、それをいちいち修正したり合わせたりするのは困難だったのではないか。私はその苦労も相当あるのではないか。今年度もそういうところがいくらか出てくるのではないかと観測している。だから、そこら辺が今の情勢から判断して、理解してやらなければならない部分もあると思う。

委員長（横山弘藏） 今田委員

委員（今田光弘） それで思うのは、はっきり理由がわかっているのであれば、決算のこの委員会の時点で、答えを用意してないといけないと思う。黒崎委員の言うように、不用額が大きいのは誰が見てもわかるから、当然突っ込まれるって考えたら、どうして不用額がそうだったか、積み立てて表を作っておけばいいのだから、それをしていないのは、努力不足だと思う。ただ、中身的には松屋委員が言うように、本当に一生懸命やった結果だというのはわかる。以上だ。

委員長（横山弘藏） 不用額というのは、毎年だいたい同じような数字が出ている。それに対して、なぜこの金額、多めの不用額が出るかということに対しての説明を求められるのは毎年のことなので、準備がちょっと不足している。それは感じる。ひとりひとり不用額を聞かれた時に、一回一回答弁が止まる。あれは準備不足と思う。

委員（今田光弘） 仮に、本当に自分達が努力して不用額を生み出したとしたら、それは逆にアピールしていいと思う。

委員長（横山弘藏） 言い訳だけじゃなくて。

正当な理由で不用額になったというのもあった。一生懸命説明する中で。そういうところももっと自信を持って、予算の説明をしてほしい。それはある。

委員長（横山弘藏） ほかにないか。これだけは言っておきたいとか。

非難ばかりではなくて、こういうところはよくやっているように感じたとか。

委員（松屋治郎） 私は、苦労しながらよくやったと思う。

委員長（横山弘藏） それと、質問の内容を、もっと決算書を読み込んで、執行部がせっかくいっぱい荷物をを持って来て準備しているので、もうちょっと具体的な事業のこの数字で表れている中で、どういう効果があったとか、そういったもうちょっと事業内容につ

いて、関連質問の中で執行部の考えを引き出すことも必要かと思う。数字だけを、合っている、合っていない、いい加減とかそういうことばかりを言うのではなくて、決算書から見られる小値賀町の行政の効果をある程度引き出すような質問もしていい。ただ、これは何ですか、ではなくて、わかった上で、例えば藻場についても、今後の展開はどうしていくのかとか、具体的な質問で、執行部の意見を引き出すようなことも考えてほしいと思う。

以上で本日の委員会を終了する。

順調に一般会計が終わったので、明日は休会にする。

特別会計の決算特別委員会は、明後日9日、午前9時30分より開議する。

お疲れさまでした。

— 午後 4 時 44 分 散会 —